



師岡 伸公 町長

明けましておめでとうございませう。

町民皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、私たちの日常生活に大きな変化がございました。

年頭の挨拶



原島 幸次 議長

新年明けましておめでとうございませう。

皆様におかれましては輝かしい希望に満ちた新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

年頭にあたり奥多摩町議会を代表いたしまして、謹んで新年のご挨拶を申し上げ

住民皆様、事業者皆様には大変なご苦労の中、外出自粛や営業自粛、感染対策などにご理解とご協力をいただき感謝申し上げますとともに、本年も引き続きのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

私は、町民皆様の温かいご支援を賜り、昨年5月に町長に就任いたしましたのが、コロナ禍での船出となり、これまで住民皆様の健康と安全・安心を第一に行政運営に取り組んでまいりました。新型コロナウイルス

感染症との戦いは、長期戦となり今後も続いてまいります。一人ひとりが手洗いやマスク着用の徹底、3密の回避、人と人の距離を保つなどの感染対策を行い、冷静に判断して行動することが大切です。

このコロナ禍において、「ソーシャル・ディスタンス（社会的距離）」という言葉が人と人の距離を保つ言葉として使われておりますが、この言葉は、人と人との社会的なつながりが希薄となり、社会的孤立が

生じる恐れがあるとして、世界保健機関（WHO）からは、身体的・物理的距離を意味する「フィジカル・ディスタンス」と言い換えるよう推奨され、私も「ソーシャル」ではなく、あくまで「フィジカル」であると捉えております。

新型コロナウイルス感染症の収束が見えない今、多くの方が様々な不安を抱えています。フィジカル・ディスタンスで互いの距離は保ちつつも、人と人との心の繋がり、思いやりをしっかりと

りと持ち、住民同士が協力してお互いが分かり合える、まさしく「心は密」となるまちづくりが必要だと感じます。

結びに、町を取り巻く状況は、少子高齢化、財政対策など依然として厳しい状況が続いておりますが、『奥多摩の未来（あす）』を創るために『様々な施策に優先順位を付け、一步一步着実に町政の進展を図り、一人ひとりが笑顔で暮らせるまちづくりを進めてまいります。

げます。日頃から町議会への深いご理解と議会活動に対する温かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

私たちは今、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により新たな苦難に直面しています。一刻も早く新型コロナウイルス感染症の終息を願い、町民一丸となつて感染予防を徹底しこの難局を乗り越えてまいりましょう。

私は議長として町議会が行政と連携し町政をしっかりと

りかじ取りし、町民の皆様への信頼と期待に応えられるよう持てる力のすべてを注ぐ決意であり、町長とともに町政をしっかりと取りかじ取りしていくことこそ町議会に課せられた責任であります。

さて、町民皆様におかれましては、新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、感染リスクや生活への不安を感じているものと考えております。

町も厳しい財政状況の中であり、町議会として

て、新型コロナウイルス感染症対策をはじめ、子育て支援、防災、高齢者支援等の町政の諸課題解決に向けてしっかりと議論の場を設け、公正で活力ある開かれた議会運営を図り、町民の皆様の声や町政に的確に反映させるため、議員一丸となつて期待に応えるべく誠心誠意尽くしてまいります。多様化する社会情勢の変化を的確に把握し町民の皆様と行政を結ぶ懸け橋として、一人ひとりの声を大切に安心して住み続けられ

る町奥多摩の実現に決意を新たにまい進してまいります。どうか本年も町議会の活動に対しまして変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。結びにあたり本年が奥多摩町にとりまして更なる飛躍の年になりますよう、町民の皆様には健康で笑顔があふれる年となりますよう心から祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。